

## パラグアイ経済トピックス（2023年8月）

### 1 経済財政省が創設

8月23日、ペニャ大統領は、財務省、企画庁（STP）、行政庁（SFP）の機能を統合した新しい省である経済財政省を設立する法律を公布した。

財務大臣として就任したフェルナンデス大臣が新機関の大臣となり、同大臣を、旧企画庁の機能を持つ経済計画担当副大臣と経済財政担当副大臣が支えることとなる。

### 2 公共事業通信大臣の就任演説：「経済の再活性化が急務」

8月16日、セントゥリオン公共事業通信大臣が、就任演説において、国内の公共事業と交通の改善に取り組むとの決意を示した。同大臣は演説の中で、「我々の喫緊の課題は経済の再活性化である。公共事業通信省は、その投資により国内経済を活性化できる組織であり、国民経済の牽引車となりうる」と述べた。また同大臣は、公共交通システムの整備が優先課題のひとつであると述べた。

### 3 パラグアイ、e-モビリティのバリューチェーンへの参入を目指す

8月11日、パラグアイにおける自動車部品産業の発展と e-モビリティ・パイロット・プランの開発を目的とする技術センターが、イタイプ・テクノロジー・パークに開設された。これは、パラグアイと韓国の政府間で進行中の協力プロジェクトの第一段階であり、e-モビリティのバリューチェーンにパラグアイが参入するための基礎を築くことを目的としている。

### 4 7月の乳製品出荷は37%増

国立家畜品質・衛生機構（SENACSA）は、酪農部門の輸出は2022年に比べて37%増加したと発表した。今年1月から7月までに、合計7,813トンが輸出され、2,850万米ドルが支払われた（前年同期は5,701トン、2,200万米ドル）。主な市場は、ブラジル、ポリビア、トルコ、アラブ首長国連邦、ドミニカ共和国、スイスとなっている。

### 5 サウジアラビア、パラグアイへの投資に関心

8月3日、ファリハ・サウジアラビア投資大臣を筆頭とする、サウジアラビアの実業家を含む約80名の代表団が、カスティグリオーニ商工大臣、ルイス・ディアス商工省産業副大臣、アレジャガ商工省投資輸出局長を含む商工省幹部と会談した。また、同投資大臣は、ペニャ次期大統領とも会談した。

両国産業界関係者間の会合には、バイオ燃料の生産など、共通の関心分野を持つビジネスマンや業界団体が参加した。また、サウジアラビアの起業家は、温室効果ガス削減のための炭素隔離を実現すべく、広大な土地を所有する国内企業との接触を特に模索した。